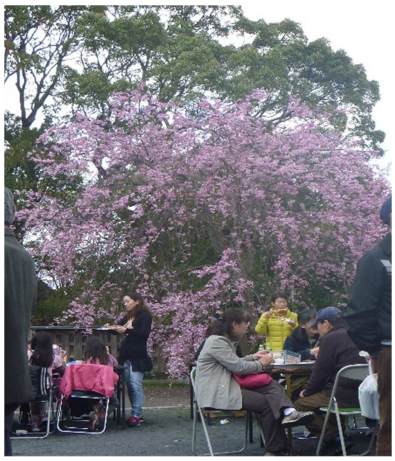
ふじやまだより

本郷ふじやま公園
本郷ふじやま公園
運営委員会発行

☆本紙のカラー版をホームページ「本郷ふじやま公園」にてご覧いただけます。

公園の春を装う桜吹雪の下で



各地から桜の開花が伝えられ、列島全体がピンク色に染まる季節となる４月、ここふじやま公園でも、雄大な富士をのぞむ里山の散策路には、淡いピンク色のヤマザクラや白いオオシマザクラなどが色どりを添え、山全体が春の装いをのぞかせます。

今年も桜の季節恒例のお花見の会を開催します。お花見は、古くは上流階級の雅な行事であったものの江戸時代には一般庶民の季節の楽しみとなったとか。ふじやま公園のお花見会は、そんな両者を併せた催事として、磯辺焼きや綿菓子といった出店や安来節などの賑わいが、詩吟・剣舞や茶席などの雅な世界と融合し、春の宴を演出します。

各地域で行われているお花見会を通して、古き良きご近所付き合いをいつまでも残したいものです。

皆様でお楽しみください。

ふじやま公園のお花見会

日　時　29 年４月２日（日）
10 時～13 時　雨天中止

催し物　獅子舞、南京玉すだれ、ねんねこ踊りなど

出　店　ふじやま風お茶席、ジャガバター、磯辺焼き、綿菓子、ポップコーン

公園ウォッチング

公園も 15 年目にはいるといろいろ不思議なことが起こる。先月、リスがケヤキの皮をはぐことをお知らせしたが、今度は何者かが茅葺き屋根に穴を開けた。主屋の正面左真ん中とやや下にぽっかりと空洞ができた。カラスが巣作りの時季に２、３本ずつ抜いていくことはよくあるのだが、こんなにごっそりとは抜いていかない。さては小動物がやって来て巣でも作ったか…とはしごをかけてのぞいてみたがそんな形跡はなし。謎は残るが、まずは補修しなくては…。

◆開園１４周年記念式典

真冬とは思われないほど穏やかな日和となった２月 15 日、開園 14 周年記念式典が執り行われました。式典後の恒例の餅つきは、幼稚園終了後に制服のまま駆けつけてくれた園児や、区長、区役所職員などの参加もあり、にぎやかな雰囲気の中で行われました。

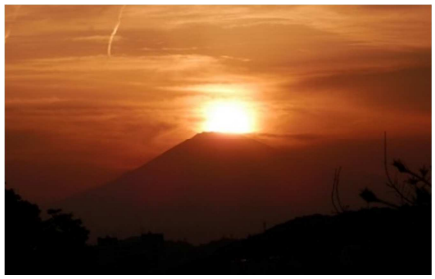
つきたての紅白餅を手にした来園者はみんなニコニコ。いい顔をしていました。

◆お雛様の前で呈茶会が開かれました

ふじやま公園が春一色になる３月５日（日）、雛飾りの前で呈茶会が催されました。江戸時代の主屋と昭和初期のお雛様や掛け軸が絶妙のマッチングで、お客様をお迎えしました。

約 30 人の参加者の皆様が、古来の文化である茶道を通して和の心を体験しました。

◆富士山の山頂に太陽が重なる“ダイヤモンド富士”



ダイヤモンド富士とは日の出か日没時に富士山の山頂に太陽が重なる瞬間の光景のことで年２回（各３日程度）気象条件がそろえば見る事ができます。日にちや観測地点により東京は２月、横浜は３月、４月には三浦半島とだんだんと南下して異なります。富士山に近い山中湖では湖面に映るダイヤモンド富士も見られることからマニアには人気のようです。当園では**3月24日**が必見です。そして２回目のチャンスは９月 19 日前後です。是非お見逃しなく～。

《けやき広場に２代目のケヤキ、長屋門前にはボタンがお目見え！》

初代のケヤキが病？のため切られて約半年、主なきけやき広場でしたが、２月 16 日に２代目が、初代の切り株の脇に植えられました。幹の直径が 20ｃｍ、高さ９ｍの堂々とした姿は見る人をひきつけます。また長屋門前にはボタンが 20 株植えられ、公園の新しい名物が誕生しました。初夏が楽しみです。

『いろり辺雑記』　から（原文のまま）

・おひなさまとかがいっぱいいてすごかった。
　またきたいです。（市内　10 代　家族で）
・息子と夫と３人で来ました。おひなさまとてもきれいで、２歳の息子もず～とみてまわっていました。（市内　30 代　家族で）

心やすらぐ園の植物

ヒメオドリコソウ　　シソ科

花期は３月～５月、明治中頃に入ったヨーロッパ原産の帰化植物。道端や休耕田などに生え、時には大群を作る。オドリコソウやホトケノザと同属。茎の上部の重なり合う葉の間から約１㎝のピンク色の花をのぞかせる。葉は白い毛をまとってふわふわし、花が咲く頃には赤紫色を帯び規則正しく十字対生に重なる。種子はアリが運ぶので石垣の隙間に生えることも。

《古民家周辺の樹木を剪定》

古民家ゾーンの色々な樹木も開園から 15 年経つと成長・繁茂してきました。そこで、公園緑地維持課から専門家を招き剪定の指導を受けました。さっそくボランティア有志が元大橋入口からの園路のシラカシ、カリン、梅林のウメや古民家そばの柿の木などの剪定を行いました。いずれも清々しい樹形に生まれ変わりました。たくさんの結実を期待しましょう。

《竹炭売上金を熊本城復旧・復元に寄付しました》

里山部会のボランティアの皆さんが焼いた本郷ふじやま公園の“竹炭”は来園の皆さんへ一袋(約 300ｇ)100 円で販売しています。今では多いときは１日で 10 袋も売れる日があります。これまで売上金は東日本大震災の復旧に役立てるよう赤十字社経由で寄付していましたが、28 年度は熊本地震で被災した熊本城の復旧の一助に寄付することにしました。金額は 46,305 円です。熊本城は規模こそ違い小岩井家と同じように後世に残すべき文化遺産であるとともに、当地域は幕末一時熊本藩領になっています。これも何かの縁ではないでしょうか。熊本城の一日も早い復旧を祈ります。

平成 29 年４月度ボランティア活動予定

部 会・事 項	日　　程	部 会・事 項	日　　程
事務局会議	７日(金)	古民家歴史部会 部会	９日(日)
農芸部会　部会	17 日(月)	古文書解読勉強会	２日(日)
作業	月曜日　木曜日	歴史探訪	５日(水)
里山部会　作業	８日(土)　15 日(土)	クリーンアップ	４日(火)　18 日(火)
	23 日(日)	広報部会	
工作棟部会　部会	12 日(水)	ふじやまだより編集会議	８日(土)
子ども工作準備	適時	印刷	13 日(木)
		ホームページ制作打合せ	30 日(日)
囲炉裏守 囲炉裏焚き	当分の間 休みます		

登録ボランティアを募集しています。公園事務所(TEL 045-896-0590)へご連絡ください。

体験教室のお知らせ

手づくりをお楽しみ下さい。お待ちしております。

教室名	日　　時	内　　容	参加費	応募期限
子ども工作	4月16日(日) 10時～11時 〃　　13時～14時	ドリームキャッチャーでいい夢見よう(小学生)	無料	当日先着順 各10名
押し絵	5月11日(木) 13時～16時 5月17日(水)　　〃	初夏を彩る「つゆ草」を色紙に	1,500円	4月25日(火) 12名
布ぞうり	5月19日(金) 10時～15時	一日で一足作ります	700円	4月28日(金) 12名
初心者茶道 体験教室	5月20日(土)13時～16時	四季を感じながらおもてなしの心を学びましょう	500円	4月28日(金) 5名
里山の そば打ち塾	5月27日(土)10時～12時	手打ちそばを体験しましょう	800円	5月12日(金) 10名
七宝	5月30日(火) 13時～15時	一輪バラの彫金のブローチ	600円	5月16日(火) 6名

(1)応募要領：往復はがきに、教室名、氏名（ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号を書いて応募期限までに本郷ふじやま公園へ
(2)応募者多数のときは抽選　(3)持参品：返信はがきで連絡します。

・・・お知らせ・・・

★ いろり端むかし話の会
いろりの火を囲んでむかし話を楽しんでみませんか
日　時：４月 13 日(木)　10 時 30 分～11 時 30 分
場　所：古民家主屋いろり端　定　員：15 名　当日参加自由　無料

★ 竹林整備(筍掘り)　本郷ふじやま公園の竹林を整備します
日　時：４月 16 日(日)　９時 30 分～12 時　　雨天中止
場　所：公園内の竹林　炭焼き広場　　定　員：100 名　小学生以上
申込み：往復ハガキにて、１枚のハガキに４名まで申込み可　　締　切：３月 23 日(木)

★ 五月人形飾りと呈茶会
飾付け期間：４月 19 日(水)から５月 15 日(月)
呈茶会：５月４日(木)　11 時～14 時　　お茶席券：300 円　　先着 30 名

★ 初心者茶道体験教室講師(古民家で初心者を対象にご教授いただける方)を募集します
条件　ボランティア(無報酬)講師です　すでに教授の経験のある方　流派は問いません
教室開催　毎月第３土曜日　13 時～15 時　お道具は講師持込みです
受講料は教材費として参加者から 500 円を徴収します
希望者は５月 15 日(月)までに往復ハガキでお申し込みください
５月 21 日（日）10 時から古民家で説明会と抽選を行います

２月ふじやま公園来園者数　２月度来園者数　2,877 名　　28 年度累計　21,059 名

・開　館　時　間：９時～17時
・入　　館　　料：無 料
・休　　館　　日：毎月第１水曜日（４月５日）
・クリーンアップ：毎月第１・３火曜日 10 時～11 時（４月４日・18 日）

本郷ふじやま公園運営委員会
〒247－0009　栄区鍛冶ヶ谷１－20　　TEL：045-896-0590　　FAX：045-896-0593